

小型電気ボイラーからの出火に注意！

【札幌市内において3件発生】

ドイツのラング社製小型電気ボイラー（以下「ボイラー」という。）から出火する火災が平成26年1月、平成28年7月、平成29年4月と3件発生しています。

3件の火災については、ボイラー本体の空焚きにより高温となり、ボイラー周辺にある可燃物が発火することが確認されております。



【出火防止対策について】

製造元のラング社及び輸入元のラングポンプ社は、既に廃業しているとの情報が入っていますが、本市としては、ボイラーを施工した企業を通じて、使用者に対し注意喚起を行っており、また、ボイラーを施工した企業において交換又は安全装置の追加措置等による出火防止対策に取り組んでいる状況です。

現在、札幌市内に390基設置されている他、江別市1基、千歳市10基、苫小牧市9基、登別市6基、帯広市18基、函館市4基設置されていることがわかっています。



【該当ボイラー】

ラング社製小型電気ボイラー

EH2. 3KRE、EH2. 9KR

EH3. 3KRE の3機種

（セントラルヒーティングシステム内のボイラーです。）

本体ラベルには「小型電気ヒーター」と記載されています。

このような形状の膨張タンクの場合もあります。

○お問い合わせについて

該当ボイラーが設置されており、交換又は安全装置の追加措置が未実施の場合は、建築メーカー、ボイラー点検業者、管理会社等にお問い合わせ下さい！